



学校だより

平成30年9月27日

射水市立作道小学校

164号

実りの秋



猛暑の夏が終わり、ようやく爽やかな季節がやってきました。

2学期は学習や運動に集中して取り組むことができるため、子供たちの力が伸びる学期でもあります。そして、その力を試すことができる学習発表会やランニング大会等の行事も控えています。自分の目当てに向かって全力で取り組み、自分自身の力を精一杯伸ばしてほしいと思います。

今学期も、ご支援・ご協力をお願いいたします。

< 自然災害に対する備え >

今年、地震や台風など本当に多くの自然災害に見舞われている年です。これまでは、富山県は自然災害の少ない県だと思っていましたが、8月の台風被害等を思い出しますと、もう少し防災意識を高めなければならぬと感じました。

本校では、9月20日に地震・津波に対する避難訓練を行い、全校児童で屋上に避難しました。また、それに先立ち、9月2日には、富山県・射水市総合防災訓練が本校で行われました。グラウンドや体育館に様々な防災に関するブースが設けられ、自治体の方々に交じって参加した子供たちも、自然災害の恐ろしさや日頃の備えの大切さを感じていたようです。

「備えあれば憂いなし」です。ご家庭に



おかれましたも、災害時の対応について親子で話し合ってみてください。

< キャリア教育 9/14 >

「J-CREWプロジェクト 外航船員のお仕事について」

学ぶ意欲を育み、仕事に対する視野を広げるキャリア教育の一環として、今回は外航船に乗船しておられる船員の方をお招きしました。

海に囲まれた日本では、海運業は日本の経済を支える重要な役割を担っています。

普段なかなか身近に感じるできない船員さんの仕事を、5・6年生の子供たちに楽しく、分かりやすく紹介していただきました。



<ちょっといい話>

2学期が始まってしばらくたった頃、毎日登下校している地下道に鳥の糞がたくさん落ちていたと気付いた子供が、先生に伝えにきました。きっと、子供たちがあまり通らなくなった夏休みの間、鳥たちが地下道で暑さをしのいでいたのかもしれませんが。

気付いた子供たちで話し合った結果、自分たちの通学路だから自分たちで掃除しようということになり「6年生ボランティア隊」を結成。学校からバケツで水を運び、デッキブラシでゴシゴシこすり、あっという間に、きれいにしてくれました。下校途中に参加してくれた子供もおり、最高学年としての頼もしさを感じました。

日頃から、集団登下校や色団活動で下級生のお世話をしてくれる6年生ですが、さりげないボランティアに成長を感じました。



今後の予定

<ビオトープ完成式典 10/2>

1学期末に子供たちからアイデアを募集して作り始めたビオトープが完成しました。

昨年度、5・6年生が中心になって手作りでビオトープを作ってくれたおかげで、国土緑化推進機構から支援を受けることができました。また、子供たちのアイデアを生かすために、PTAからも助成していただきました。

学習の場として、遊びの場として、そして、



憩いの場として活用してほしいと思います。

<学習発表会 10/14>

いよいよ学習発表会の練習が始まりました。体育館やマルチから子供たちの元気な声が聞こえてきます。

今年のスローガンは「心をひとつに！笑顔輝く 感動のステージにしよう」です。ご家族おそろいで子供たちの笑顔を見てあげてください。お待ちしております。

